

渡良瀬遊水地を活用した観光地化事業

栃木県小山市
総合政策課 人と企業を呼び込む政策調整係

20班 コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科

樋口春菜 渡辺美和子
鈴木風馬 久米智
春原菜々子 緑川太智

背景

渡良瀬遊水地

- ・2012年 **ラムサール条約湿地**に登録
- ・栃木・茨城・群馬・埼玉の4県にまたがる本州最大の湿地
- ・治水の要として首都圏を洪水から守る
- ・絶滅危惧種183種を含む**貴重な動植物が生息・生育する**

渡良瀬遊水池の観光開発

- ・推進5カ年計画（H30～34年）
生井桜つつみ田んぼアート
冬水田んぼ米、
ヨシ焼、お魚 わいわい大作戦
- ・交通網の整備
デマンドバスの利用
シェアサイクルの実施



写真1 渡良瀬遊水地第2調節池



写真2 広大なヨシ原

目的

現地の視察と調査から渡良瀬遊水地の課題および住民の利用状況、興味のあるイベント、必要な設備・サービスを明らかにし、新たな観光地化事業を提案する。

方法

〈本調査〉

調査方法：アンケート調査
対象：公民館のサークル・講座参加者及び渡良瀬遊水地コウノトリ写真展参加者等
場所：生井公民館
対象人数：160人
（小山市在住 76% 小山市外居住 24%）
期間：9月3日～9月18日

〈追加調査〉

調査方法：アンケート調査
対象：宇都宮大学学生等
対象人数：45人
（小山市在住 22% 小山市外居住 78%）
期間：11月13日～11月27日

分析結果

渡良瀬遊水地を訪れる目的を問う設問では、「イベントに参加する」が圧倒的多数であった。このことから、渡良瀬遊水地を活用した観光地化事業にイベントが不可欠であることが分かる。

興味のあるイベントを選択する設問では、既存のイベント、特に「ヨシ焼き」「お魚ワイワイ大作戦」「生井桜まつり」の人气が高かった。**新たなイベント**では「**星空観察会**」が人気であった。

「**新たなニーズ**」を取り入れた**イベントの提案をターゲットにあわせて情報発信**することで認知度アップ、及び魅力の発信で観光地化を後押しすることを目指す。

渡良瀬遊水地に欲しい設備を問う設問では、「トイレ」「ベンチ」「案内所」「休憩所」の回答が多く、利用者のニーズに対応した設備の補充が必要であると整理された。

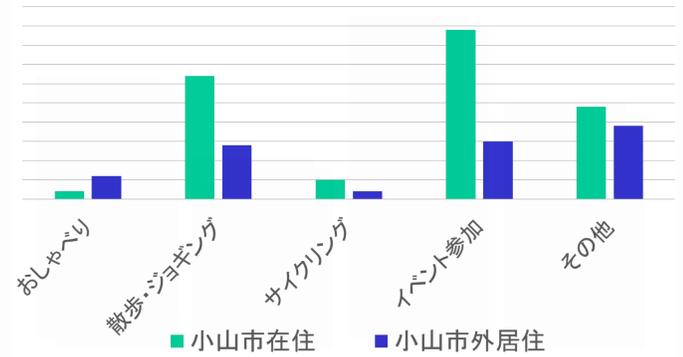


図2 渡良瀬遊水地を訪れる目的

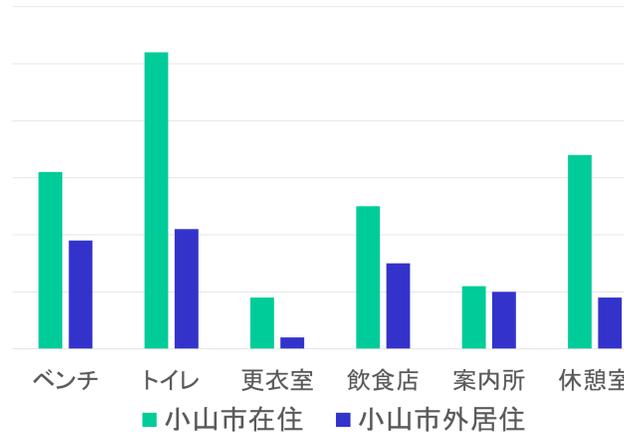


図1 渡良瀬遊水地に欲しい施設

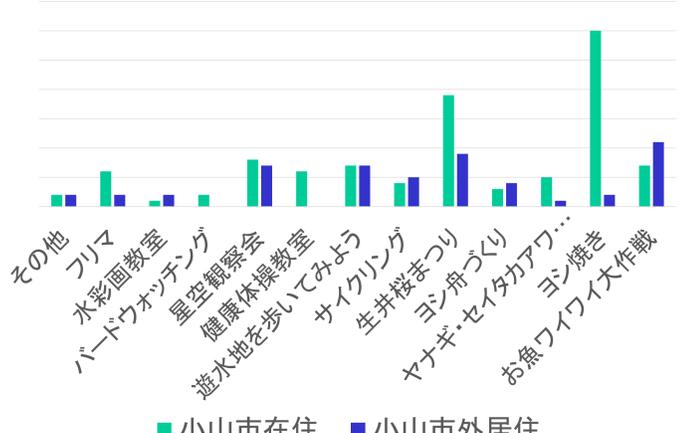


図3 興味のあるイベント(複数回答可)

提案



夕焼けの部：16時～17時

星空の部：18時～20時

大人の部：20時～21時

星空観察会（仮）に行ってみよう！！



私たちは1年間の小山市の渡良瀬遊水地とその周辺の調査を経て、**星空観察会**を提案します。

渡良瀬遊水地は周辺に建物が少なく、星空の観察できる場所としては適した環境下にあると考えました。

トイレや休憩所など、**長期に滞在できる施設の設置**と、渡良瀬遊水地と小山市中心地をつなぐ動線増やすための**デマンドバス**を手配することが、渡良瀬遊水地を訪れる人々の増加につながると考えます。

シニア

回覧板・広報紙
公民館の掲示板
老人ホーム

渡良瀬遊水地周辺には、多くの高齢者が在住しています。また、地域住民の集うことのできる老人ホームがあったり、現行で回覧板が回っていたりするなど、地域性を活かした情報の発信方法があるのではないかと考えます。

家族

小学校・幼稚園
地域の事業所

小山市は現在、小学校や幼稚園の数が減ってはいるものの、元気な子供たちが過ごす場所があることがわかりました。
お魚わいわい大作戦などのイベントにも多くの子供たちが参加していることから、より多くの子供たちが集まってくれるための取り組みを考え、小山市を知ってもらうことが渡良瀬遊水地の保全・発展につながると考えます。

若者

SNS
Twitter
Instagram

私たちの調査では、渡良瀬遊水地周辺に若者が集う場所は見受けられませんでした。しかし、若者には若者なりの情報の広まり方があるのではないかと考えます。現代はスマートフォンによるSNSの普及が著しいので、現行の小山市のInstagramも含めて、小山市の特徴が周辺地域だけでなく遠い地域の人々へも発信できればよいのではないかと考えます。